

【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No. 74
このメールマガジンは、NP0法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

A number line with 18 boxes. The first 10 boxes contain diamonds and squares alternating, starting with a diamond. The next 8 boxes are empty.

◆NP0法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2023-11-1 No. 74

リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

- ・ リバティ…Liberty(自由)
- ・ パブ……Publication(出版)とPublic House(公共の場)、PUB(大衆酒場)を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

Page 10 of 10

こんにちは！日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。
来週末はいよいよ日本自費出版フェスティバルが開催されます。
数々の受賞作品との出会いや、著者の方のスピーチが楽しみです。
深まりゆく秋、自費出版への関心もより深まるフェスティバルにしたいですね。

それではリバティ・パブ74号をお届けします。

◆◆◆◆◆ CONTENTS ◆◆◆◆◆

1. トピックス ……2023日本自費出版フェスティバルが11月11日（土）開催
2. お知らせ …… 文化賞の新規協賛者にハイデルベルグなど8社
3. お知らせ …… 第41回自費出版アドバイザー講座11/30は「どうするその原稿」

☆ 自費出版事情… ～会員便り～No.71

☆ 知つとこ高知 その6

◆ ◆

□ □ _____ □ □

1. トピックス … 2023日本自費出版フェスティバルが11月11日（土）開催

□ □ _____ □ □

「2023日本自費出版フェスティバル」が東京のアルカディア市ヶ谷で、11月11日（土）に開催いたします。

開催時間は12：30～17：00です

今年も日本文化賞の表彰式とスピーチがメインになりますが、受賞作品の即売会や自費出版相談コーナーの開設などが予定されています。

なお、当日の運営ボランティアスタッフを募集しています。

申し込みは山崎事務局長 ryoyamazakibest@yahoo.co.jp まで。

□□ _____ □□

2. お知らせ … 文化賞の新規協賛者にハイデルベルグなど8社

□□ _____ □□

日本自費出版文化賞の新たな協賛者に8社が決まりました。新規協賛者は、ハイデルベルグ・ジャパン（株）、（株）キングコーポレーション、コダック合同会社、キャノンマーケティングジャパン（株）、リコージャパン（株）、（株）I&K TOKA、理想科学工業（株）で計50万円の協賛になります。
なお、大東化工（株）は26回で協賛終了となり、27回の協賛者は計14社140万円（過去最大に並ぶ）です。

□□ _____ □□

3. お知らせ … 第41回自費出版アドバイザー講座11/30は「どうするその原稿」

□□ _____ □□

自費出版の原稿を、どのように料理して一冊の本にしていくか。
最初の相談から本ができるまでの流れを、数多くの自費出版を手掛けるパレードブックスさんにお話しいただきます。
自費出版の仕事に関心のある方や、すでに実務としている方なども、幅広く本づくりについて学べるリアル+オンライン講座です。

- 2023年11月30日（木）15：00～16：30
- リアル会場はジャグラ本部のあるニッケイビル8階
- ネットワーク会員2,000円、ジャグラ会員と全印工連会員2,500円、その他3,000円
- 詳細は添付PDFをご確認願います。

□□ _____ □□

☆ 自費出版事情… ～会員便り～No.71

□□ _____ □□

交友プランニングセンター・友月書房
横井 司

「自費出版に関わる楽しみ」

交友プランニングセンター・友月書房では神戸や明石のイベント会場で行われる生活向上セミナーの一環として、自費出版セミナーを行っています。
9月27日の参加で9回目となりました。今回のテーマは『百四歳で初句集出版！！ ―八十、九十歳はこれからです―』でした。

最近当センターで自費出版される方は、九十歳代の方が多くなりました。中には百歳や百四歳の方もおられます。皆さん凄い方ばかりです。第一に健康である、第二に頭がハッキリしている。第三に多趣味である。という風にです。
子や孫に財産を残しても仕方ない、多少の自分の葬式代は残しても、自分のお金は自分で使う方ばかりです。そういう考え方が元気な基なのかもしれませんね。
本を売ることなどは殆どの方は考えておられません。自分の生きた証を残したいという方ばかりです。

私もそんな皆様の本づくりの一助として、長年自費出版の仕事に関わってきた者として、アドバイスさせていただくことが、私にとっても勉強ですし、いろんな方の人生の歩みを聞かせていただき、本当に楽しい仕事をさせてもらっていると思います。

□□ _____ □□

□□

□□

アンパンマンの生みの親

10月20日、高知県民にとってうれしいニュースが発表されました。
今年のNHK朝の連続テレビ小説『らんまん』（主人公：牧野富太郎）に続き、再来年の春から高知出身「アンパンマン」の作者やなせたかしさんと妻の小松暢さんをモデルにした『あんぱん』が放送されることが決定したのです。

高知県（香美市香北町）出身のやなせたかしさんは、東京高等工芸学校工芸図案科（現・千葉大学工学部）卒業後、製菓会社に入社するも、戦争で招集され中国へ出兵。上海で終戦を迎えると、帰郷し高知新聞社へ入社。そこで後の妻となる小松暢と出会います。
その後、28歳で上京し、デザインの仕事や連載漫画を手がける一方でテレビ・ラジオ番組の構成、舞台の美術担当などマルチタレントとして多彩な創作活動を行い、42歳のときには名曲「手のひらを太陽に」の作詞を担当。
そして、「アンパンマン」が発表されたのは50歳の時。

1988年（69歳）にテレビアニメ「それいけ！アンパンマン」の放送が開始され、その登場キャラクター数（1768体）は2009年にギネス世界記録に認定されました。
遅咲きといわれるやなせさんですが、戦争で弟を亡くされた悲しみから「生きる意味・喜び」「助け合い」をテーマにした作詞・マンガは、子どもたちだけでなく誰からも愛される作品を数多く生み出しています。
「そうだ うれしいんだ いきるよろこび♪」で始まる「アンパンマンのマーチ」も「アニメの主題歌なのに歌詞が深すぎる」と有名です。一度全文を読んでみてはいかがでしょうか。

リーブル出版（株式会社リーブル）
代表取締役 坂本 圭一郎

★あとがき

日本自費出版フェスティバルは協賛をはじめ、多くのスタッフによって運営されています。
私は昨年に引き続き司会を担当いたしますが、毎回何かしらのハプニングがあってその対応に大わらわ。
今年も何が起きるかドキドキですが、受賞者の皆さんやご一緒に参加された方にとって、いっそう喜ばしい時間にできるよう、イメージトレーニングしておきます。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

*:

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473
<http://www.jsjapan.net/>

過去のメールマガジンはコチラからご覧になれます

↓

<https://www.jsjapan.net/pages/mm>
